

■ 施策・事業の重要度・優先度の整理（各委員の意見のまとめ）

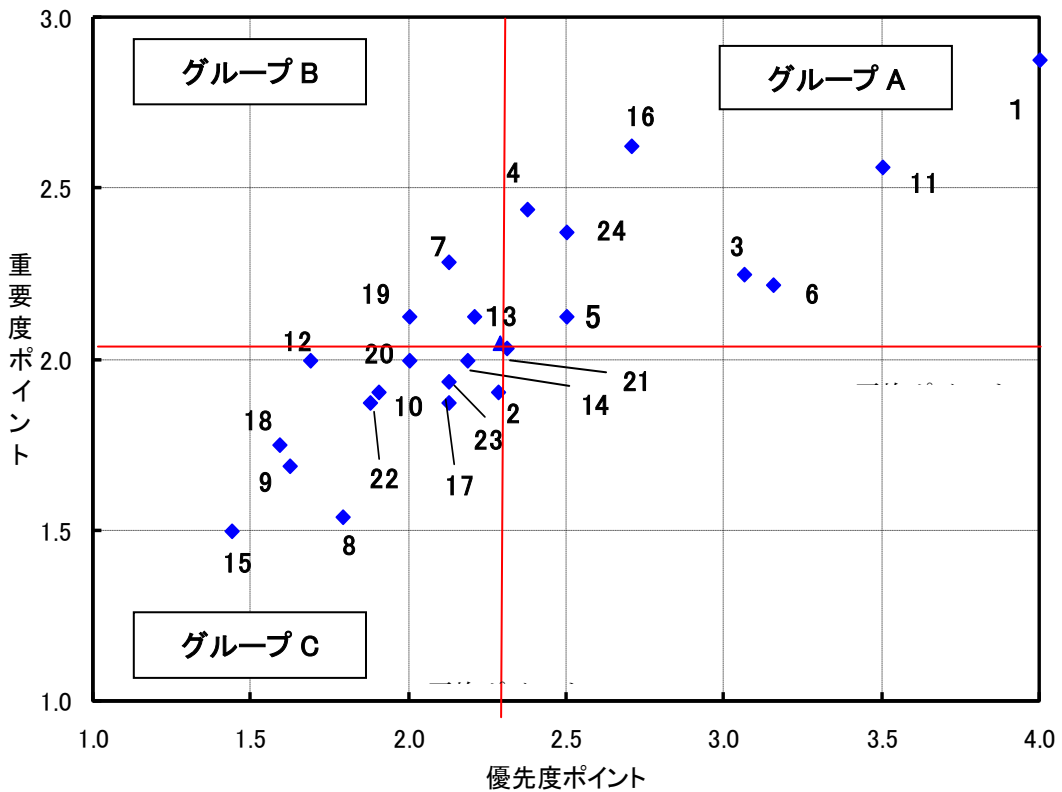
●重要度、優先度の試算

重要度		優先度（達成目標）	
A 高い	3点	A 3年を目途	4点
B ふつう	2点	B 5年を目途	3点
C 低い	1点	C 10年を目途	2点
D その他	0点	D 長期的	1点
		E その他	0点
ポイント の試算	重要度	$(Aの件数 \times 3 + Bの件 \times 2 + Cの件数 \times 1) \div 総件数$	
	優先度	$(Aの件数 \times 4 + Bの件 \times 3 + Cの件数 \times 2 + Dの件数 \times 1) \div 総件数$	

●施策別(中分類)にみた重要度・優先度の分布とグループ分け

グループ A：重要度・高／優先度・高 グループ B：重要度・高／優先度・低
 グループ C：重要度・低／優先度・低

重要度と優先度の関係

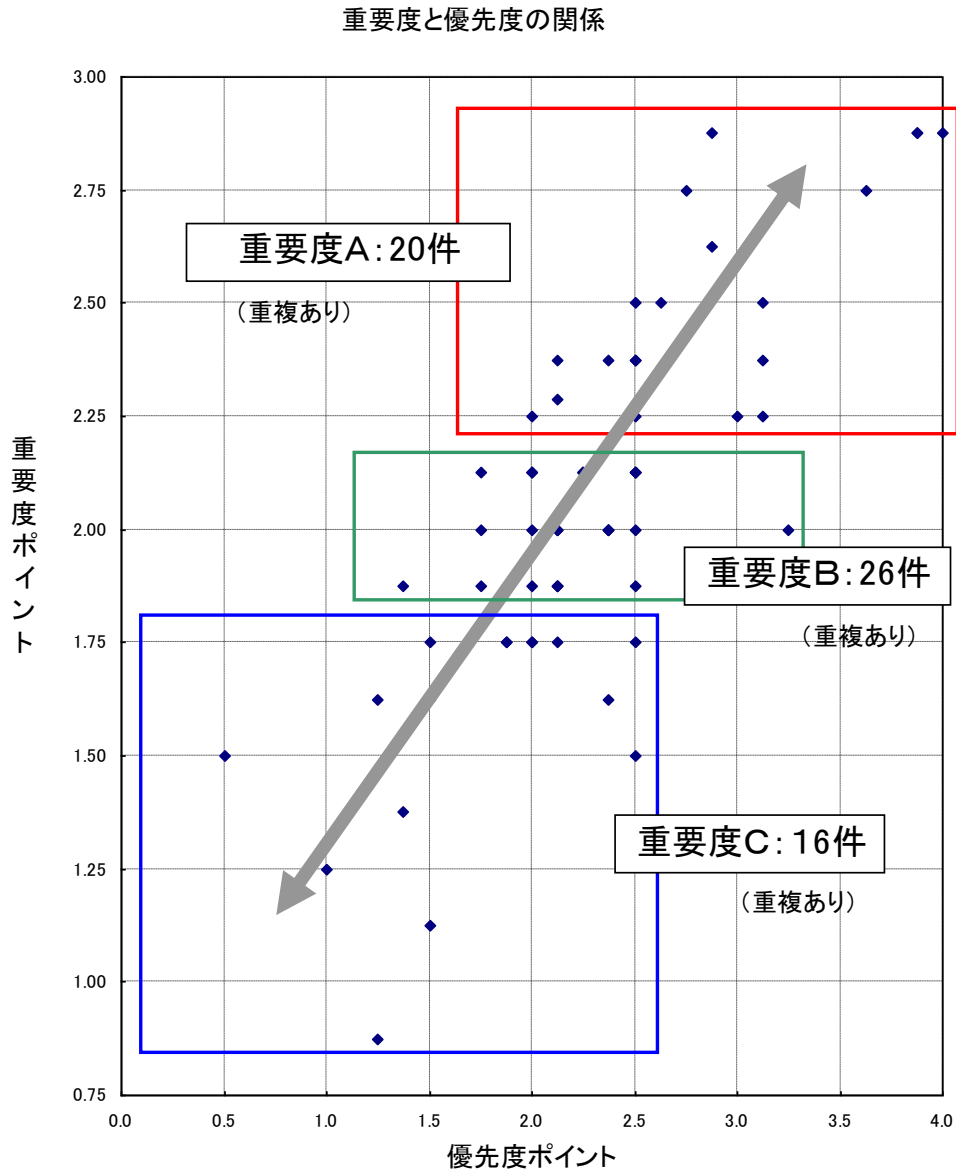


● 施策別の重要度・優先度ポイントとグループ分け

大分類 (基本方針)	中分類 (施策)	重要度 ポイント	優先度 ポイント		グループ※			
			順位	順位	A	B	C	
I 「観光・交流のまち・裾野」のイメージアップ ～裾野ならではの魅力の創出～	1 富士山のビューポイントの選定と整備	2.88	①	4.00	①	●		
	2 自然体験・農業体験のメニューづくり	1.91	⑰	2.28	⑩			●
	3 自然・歴史・文化を活かした市内回遊ルートの整備	2.25	⑦	3.06	④	●		
	4 観光物産拠点の形成	2.44	④	2.38	⑧	●		
II 観光資源の多様な連携、ネットワークの形成	5 市内回遊ルートの整備	2.13	⑨	2.50	⑥	●		
	6 交通ネットワーク、案内表示、関連施設の整備・拡充	2.22	⑧	3.16	③	●		
III 多様な体験、保養観光、スポーツ・健康増進の振興	7 自然体験・農業体験のメニューづくり	2.29	⑥	2.13	⑬		●	
	8 宿泊滞在利用の促進、観光保養・健康増進システムの整備	1.54		1.79	⑳			▲
	9 スポーツ合宿誘致の促進	1.69		1.63				▲
	10 各種体験メニューづくり(再掲/学習体験を記載)	1.91	⑰	1.91	⑱			●
4 「富士山の裾野のまち」にふさわしい景観の形成	11 花による景観形成	2.56	③	3.50	②	●		
	12 市全体レベルでの自然・田園、街並み景観の形成推進	2.00	⑬	1.69				●
5 「食のまちづくり」の推進	13 地場食材を活かした名産品・名物料理の開発	2.13	⑨	2.21	⑪		●	
	14 食の魅力に関する情報発信と情報提供	2.00	⑬	2.19	⑫			●
6 広域観光ネットワークの構築	15 広域観光ルートの形成と情報発信	1.50		1.44				▲
	16 広域観光推進体制の整備	2.63	②	2.71	⑤	●		
7 観光プロモーションの強化	17 観光交流イベントの魅力強化	1.88	⑱	2.13	⑬			●
	18 観光情報の発信と提供の推進	1.75		1.59				▲
	19 観光情報提供媒体の整備	2.13	⑨	2.00	⑯		●	
	20 交通機関、旅行会社への情報提供の強化	2.00	⑮	2.00	⑯			●
8 「おもてなしのまち」づくり	21 観光関連事業者におけるおもてなし・接客対応力の向上	2.03	⑫	2.31	⑨			●
	22 観光ボランティアガイド、観光インストラクターの育成	1.88	⑱	1.88	⑱			●
	23 市民におけるおもてなし意識の啓発	1.94	⑯	2.13	⑬			●
	24 外国人観光客の受け入れ体制の充実	2.38	⑤	2.50	⑥	●		

※グループA:重要度・高/優先度・高 グループB:重要度・高/優先度・低
グループC:重要度・低/優先度・低(▲:特に低いもの)

●事業別(小分類)にみた重要度と優先度の関係



●事業別(小分類)の重要度、想定される担い手、優先度

重要度による分類結果

重要度A	重要度が高かった 20 件	1-1
重要度B	重要度が次に高かった 26 件	2-1
重要度C	重要度が低かった 16 件	2-2

大分類	中分類 (施策) 【ABC】グループ名	小分類 (事業)	重要度 ポイント	想定される担い手 ●メイン ■サブ ▲該当					優先度 ポイント	事業の取組み 時期 回答者数				
				行政	団体	観光	民間	市民		3年	5年	10年	長期	
I. 「観光・交流のまち・裾野」のイメージアップ ～裾野ならではの魅力の創出～														
	1. 富士山のビューポイントの選定と整備【A】	1-1 富士山のビューポイントの選定と整備	2.88	●	■	▲		▲	4.00	8				
	2. 自然体験・農業体験のメニューづくり【C】	2-1 滞在型農業体験活動プログラム開発と受け入れ体制の整備	2.13	▲	▲	▲	●		2.50	2	3	1	1	
		2-2 観光農園の開設促進	1.75	▲	▲	■	●		2.00	2	2	1		
		2-3 特産野菜などの栽培・収穫体験の演出	1.88	■	▲	■	●		2.50	3	2	1	0	
		2-4 富士登山、愛鷹連峰登山等との周遊促進	1.88	●	■	▲	▲		2.13	2	3			
	7. 自然体験・農業体験のメニューづくり【B】	7-1 十里木キャンプ場、愛鷹山ハイキングコースの整備	2.29	●	▲	▲	▲		2.13	3	1	1		
	3. 自然・歴史・文化を活かした市内回遊ルートの整備【A】	3-1 自然観察コースの設定の工夫	2.75	●	■	▲	▲		3.63	5	3			
		3-2 裾野の民話と歴史資源の継承と活用	1.75	■	●		▲	▲	2.50	2	4			
	5. 市内回遊ルートの整備(再掲)【A】	5-1 裾野駅を起点とする回遊ルートの整備	1.88	▲	●	▲			2.13	2	3			
		5-2 街路の愛称づくりの工夫	2.00	■	■	▲	▲		2.38	2	3	1		
		5-3 もののふの里「葛山(かざらやま)」の散策	2.13	■	■	▲	■	▲	2.50	2	4			
		5-4 全国疎水百選、「深良用水」の散策	2.13	■	●	▲	▲		2.50	2	4			
		5-5 ハイキングコースの整備	2.25	■	●	▲	■		3.00	3	4			
		5-6 梅の里周辺の活性化	2.38	●	●	▲	▲		2.50	2	3	1	1	
	4. 観光物産拠点の形成【A】	4-1 道の駅の設置	2.38	●	▲	▲			2.13	1	3	2		
		4-2 飲食店、地場産品販売店における特色づくりの促進	2.50	▲	●	■	■	▲	2.63	4		2	1	
II. 観光資源の多様な連携、ネットワークの形成														
	6. 交通ネットワーク、案内表示、関連施設の整備・拡充【A】	6-1 観光案内・誘導標識の整備・拡充	2.88	●	●				3.88	7	1			
		6-2 観光施設間の交通ネットワークの整備・促進	1.63	●	▲	▲			2.38	4		1	1	
		6-3 まちなか歩き観光マップの記載	2.00	■	●	■	▲		3.25	5	2			
		6-4 各観光スポットにおけるトイレ、駐車場整備の促進	2.38	●	■	▲	▲		3.13	4	3			
III. 多様な体験、保養観光、スポーツ・健康増進の振興														
	8. 宿泊滞在利用の促進、観光保養・健康増進システムの整備【C▲】	8-1 医療施設との連携による健康増進プログラム開発の促進	1.75	●		▲	▲		2.13	3	1	1		
		8-2 連泊・滞在期間に対応したサービス・料金システムの工夫	0.88	■	▲	●	■		1.25	1	2			
		8-3 既存施設のサービス向上(ヘルシーパーク裾野等)	2.00	●	▲	▲	■		2.00	2	2	1		
	9. スポーツ合宿誘致の促進【C▲】	9-1 スポーツ団体、周辺企業のスポーツクラブ等へ合宿場所の斡旋・提供	1.75	▲	▲	●	▲		2.00	2	1	2	1	
		9-2 水ヶ塚周辺の高地トレーニング地活用の検討	1.63	■	▲	■			1.25	1		3		
	10. 産業観光や体験学習受け入れの促進【C】	10-1 小・中学校、高等学校の体験学習の積極的誘致と教師へのPR活動の推進	2.00	●	●	▲	▲		1.75	2	1	1	1	
		10-2 工場見学の推進	2.50	▲	■	▲	●		3.13	5	1	1		
		10-3 研修合宿の推進	1.25	▲	●	■	▲		1.00	1		2		
		10-4 旅行会社等への働きかけ強化	1.88	▲	●	▲			1.75	3		1		
IV. 「富士山の裾野のまち」にふさわしい景観の形成														
	11. 花による景観形成【A】	11-1 市内主要道路への花の植栽やオブジェの設置	2.88	●	●	▲	▲	■	3.88	7	1			
		11-2 四季を通じた花による修景の推進	2.25	■	●	▲	▲	▲	3.13	3	3	2		
	12. 市全体レベルでの自然・田園、街並み景観の形成推進【C】	12-1 景観デザインの工夫と環境美化の推進	2.13	●	▲	▲	▲	■	2.00	2	1	2	1	
		12-2 水際環境の整備	1.88	●	▲	▲	▲	▲	1.38	1	1	1	2	
V. 「食のまちづくり」の推進														
	13. 地場食材を活かした名産品・名物料理の開発【B】	13-1 特産野菜の観光面でのブランド化と「名物食材」としての活用	2.13	■	●	▲	●	▲	2.25	3	2			
		13-2 裾野ブランドの名物や共同商品の開発支援	2.25	▲	▲	▲	●	▲	2.00	1	4			
		13-3 商工会との連携強化	2.00	■	●	▲	●		2.38	2	2	1	3	
	14. 食の魅力に関する情報発信と情報提供【C】	14-1 地元名産品の紹介、展示販売機能の整備	2.25	▲	●	■	■	▲	2.50	5				
		14-2 「食」をテーマとするイベントの工夫	1.75	▲	■	▲	●	▲	1.88	3	1			

大分類	中分類 (施策) 【ABC】グループ名	小分類 (事業)	重要度 ポイント	想定される担い手 ●メイン ■サブ ▲該当					優先度 ポイント	事業の取組み 時期 回答者数			
				行政	団体	観光	民間	市民		3年	5年	10年	長期
VI. 広域観光ネットワークの構築													
15.広域観光ルートの形成と情報発信【C▲】	15-1裾野を起点とする多様な広域観光ルートの形成と情報発信	1.63	▲	●	▲			1.50	2	1			1
	15-2広域アクセスの整備（御殿場線の利用改善、「あさぎり」号）、高速バスの運行強化に向けた働き	1.38	■	●	▲			1.38	1	1	2		
16.広域観光推進体制の整備【A】	16-1広域観光情報機能の整備充実（「表富士観光キャラバン」活動の促進）	2.38	■	●	▲			2.38	4	1			
	16-2御殿場市・小山町を含めた広域観光推進体制の整備	2.63	■	●	▲	▲		2.88	5	1			
	16-3相互連携と情報交換の推進（観光協会、観光業者の定期的会合の開催）	2.88	▲	●	■			2.88	5	1			
VII. 観光プロモーションの強化													
17.観光交流イベントの魅力強化【C】	17-1既存イベント充実の工夫と支援	2.75	■	●	■	▲	▲	2.75	4	2			
	17-2観光関連団体間の連携による地域イベントの開催	2.13	▲	●	▲			1.75	2	2			
	17-3若者に魅力のある音楽イベントの定着に向けた支援	1.50	▲	●	▲			2.50	0	4	4		
	17-4新たな魅力あるイベントの開催に向けた検討	1.13	▲	●		▲	●	1.50	0	4			
18.観光情報の発信と提供の推進【C▲】	18-1観光交通機関、観光施設、飲食・物販施設、宿泊施設等の相互連携の促進	1.75	▲	●	■	▲		1.88	2	2			1
	18-2テレビ・映画等を活用した観光誘致宣伝活用の強化と「フィルム・コミッション」の設立	2.00	■	●	▲	■		2.13	2	3			
	18-3著名作家・デザイナーによる宣伝媒体のデザイン化	1.50	●	●	▲			0.50		1			
19.観光情報提供媒体の整備【B】	19-1IT化による観光情報ネットワークの整備推進	2.50	■	●	▲	▲		2.50	5				
	19-2多様な媒体を活用した観光情報提供の充実	1.75	▲	●	■	▲	▲	1.50	3				
20.交通機関、旅行会社への情報提供の強化【C】	20-1観光客誘致キャンペーンの充実（表富士キャラバン）	1.88	■	●	▲			2.00	4				
	20-2関係団体との連携・協力の強化	2.13	■	●	▲			2.00	4				
VIII. 「おもてなしのまち」づくり													
21.観光関連事業者におけるおもてなし・接客対応力の向上【C】	21-1市民向け啓発活動による「おもてなしの心」の醸成	2.13	■	●	▲	▲	■	2.25	3	2			
	21-2観光モニター制度導入の検討	2.00	■	●	▲		▲	2.13	3	1	1		
	21-3観光関連事業者経営者・従業員における「おもてなし研修」の実施	2.00	▲	■	●			2.38	4	1			
	21-4各施設における顧客満足度調査の実施	2.00	▲	●	●			2.50	4	1			1
22.観光ボランティアガイド、観光インストラクターの育成【C】	22-1観光協会と連携した観光ボランティアガイド、インストラクターの養成	1.88	▲	●	▲		▲	1.88	2	2			1
23.市民におけるおもてなし意識の啓発【C】	23-1市民への啓発、美化意識の醸成	2.00	■	●	▲		▲	2.13	3	1	1		
	23-2観光客への啓発、マナーの徹底	1.88	▲	●	▲		●	2.13	4				1
24.外国人観光客の受け入れ体制の充実【A】	24-1外国人観光客の利用に対応した体制の整備	2.38	▲	●	■			2.50	3	2			2

●寄せられた意見

1-1 富士山のビューポイントの選定と整備	●広域行政でやっているそうですが、ビューポイントマップは既にある。
1-2 自然体験・農業体験のメニューづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●滞在型ではないがきゃべつクラブの小麦作りがある。 ●観光農園はいそべ農園でやっている。遊休農地の活用をJAにも協力してもらえないか。 ●特産野菜などの栽培・収穫体験の演出は須山、深良地区の婦人会でやっている。 ●農協の協力を求める。
1-3 自然・歴史・文化を活かした回遊ルートの整備	<ul style="list-style-type: none"> ●森林ウェルネスウォーキングロードの整備についてはどこが主体になってやっていくのか。健康とからめて是非検討して欲しい。 ●裾野の民話と歴史資源は富士山資料館、深良用水資料館で入手できる。まず、学校での活用からはじめ、市民の知名度を上げる。 ●裾野市史、裾野市文化財巡り(東・西・深良・富岡・須山)、市教育委員会編集、各寺院、各地区古老の聴取など。
1-4 観光物産拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●まずは市民が訪れたい、やってみたいと思う拠点づくりから、市民が友人や親戚を連れてきたい所へと、広がって行ったらいい。 ●ふれあい市、ガーデンシティなど、既存のものの充実。 ●道の駅は静岡東部には小山と富士川しかないなので、位置的に裾野にあってもいい。拠点があると様々なものが発信できる。
2. 観光資源の多様な連携、ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ●ここ3年くらいはヘルシーパーク周辺やサファリ。グリーンパ通りの整備を重点的にやったらどうか。 ●すその一を観光に使えないと聞いた。 ●徒歩コース「富士山ブラブラ健康コース」、車コース「裾野盆地一回りコース」が考えられる。
3. 多様な体験、保養観光、スポーツ・健康増進の振興	<ul style="list-style-type: none"> ●キャンプ場の民間委託 ●体験学習施設のPRは、市に關係する旅行会社等の斡旋に期待がもてる。
4. 「富士山の裾野のまち」にふさわしい景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の子供達によるボランティア活動で、自分達の学校や周りを花いっぱいにする活動ができればいい。 ●観光地近くには景観条例をつくって、建物や看板の規制を

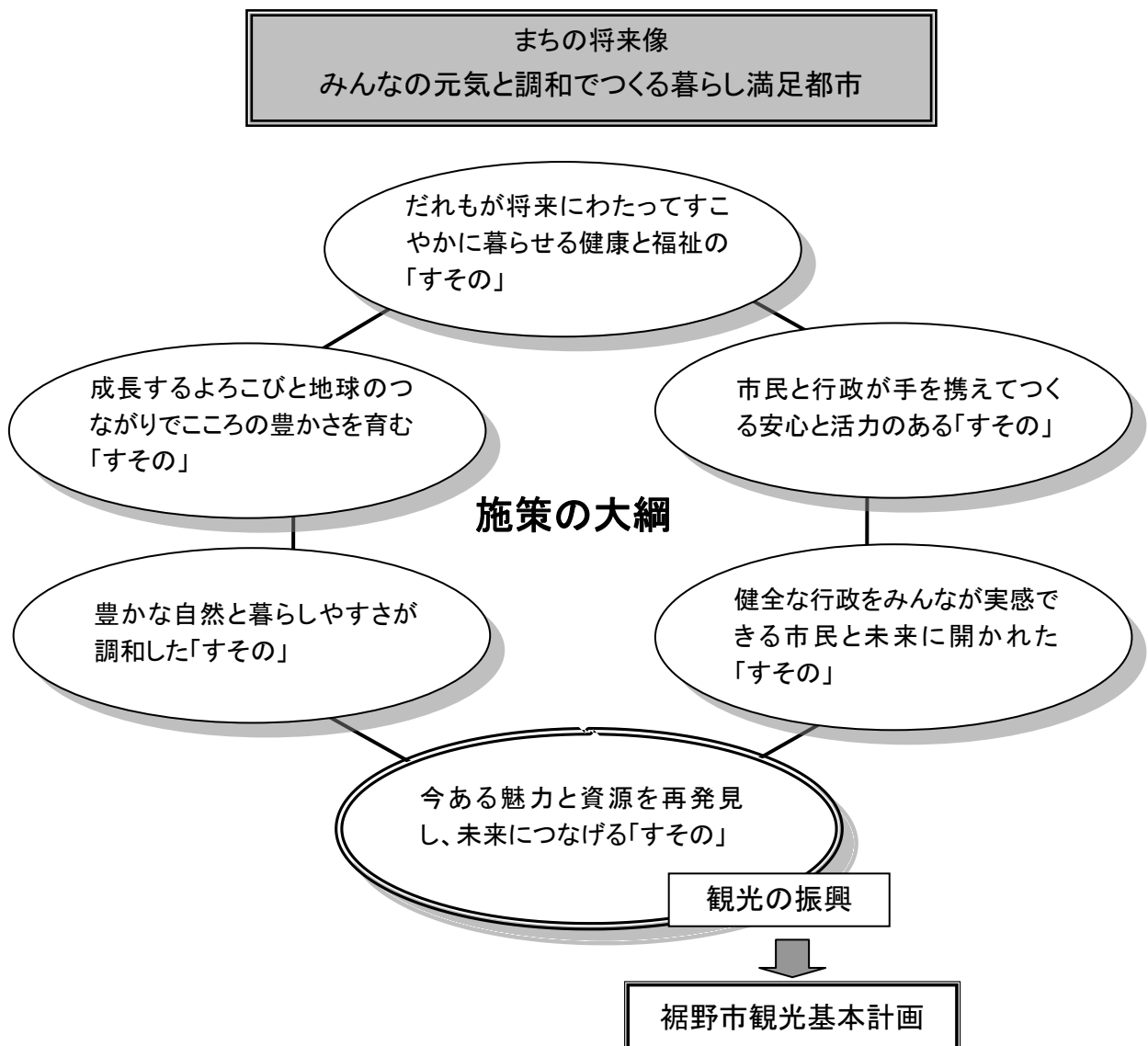
	<p>して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●裾野市は芸術面に対する取り組みが少ない。市内に住む芸術家の協力を求める。 ●駅西開発による川の整備はすぐに取り止めて欲しい。そして自然を大切に作る工法による工事で、魚や生物が生きていける川を造って欲しい。今ある自然を出来るだけ未来に残す工夫を。 ●パノラマロードを集中的にもっと植栽する。
5. 「食のまちづくり」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●わくわく倶楽部がある。今までどおり永遠にやって欲しい。 ●ふれあい市の充実を。 ●水餃子を市民が買いやすい値段に。 ●すその水餃子が食べられる飲食店の紹介、PR 不足。
6. 広域観光ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ●サファリパークやグリーンパと観光協会がタッグを組んだら裾野の知名度が上がると思う。 ●裾野青年会議所が提唱している「富士山一周駅伝大会」の実現を支援したい。
7. 観光プロモーションの強化	<ul style="list-style-type: none"> ●時之栖のバスツアーの活用。 ●あたらしいイベントは他にやることあるのでは。 ●ホテルノ瀬やルートインなどに裾野の特産品を置く。 ●40周年に関連して牧野宗則親子の起用を ●既存イベントには市民アンケートを実施して意向を聞く。 ●イベントに雪合戦を入れたい。新たなイベントはプログラムタイミングを待ちたい。 ●著名作家等の起用は過去にないことなので見極めたい。
8. 「おもてなしのまち」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●おもてなしのまちづくりは今のところ必要ないのでは。

■ 第4次裾野市総合計画との関係

● 計画の位置づけ

本計画は、第4次裾野市総合計画の観光分野の個別計画として位置づけられるものであり、裾野市観光基本計画策定委員会での意見やアンケート調査の結果を踏まえるとともに、国、県の観光に関する計画及び市の関連計画との整合性に留意しながら策定しています。

■ 第3次裾野市総合計画と観光基本計画との関係



● 「観光の振興」の目的、現状と課題、基本事業

<p>施策の目的</p>	<p>既存の観光ツールの有効利用と新たな観光資源の発掘、創出を行い、それらのネットワーク化や情報発信を行うことにより、観光交流人口を増やし、地域の活性化実現を目指します。</p>
<p>現状と課題</p>	<p>財政状況の悪化により、観光施設の新規整備や維持管理が難しくなり一方で、旅行形態の変化により、体験観光等の要望が増加しています。</p> <p>本市は、近隣市町との連携による観光PR「表富士キャラバン」を実施しているほか、中央公園等との観光施設の整備、「富士山遊歩道」の整備などを実施しています。裾野市の観光施設の方向性、指針となる「裾野市観光基本計画」も策定しました。</p> <p>今後も、富士山をはじめとする、恵まれた地域資源を活かしながら、宣伝や情報発信等を工夫、強化し、将来に向けた他地域との差別化を図っていく必要があります。また、観光ルートやモデルコースの開発を通じて観光客拡大に努める必要があります。</p> <p>新たな施設設備等への大きな投資は難しい状況にあるため、既存の観光資源を磨き上げ、有効活用することが求められます。</p>
<p>施策実現の手段(基本事業)</p>	
<p>(1)観光の魅力づくり</p>	<p>富士山の自然、文化の恵みを活かした“すそのらしさ溢れる各種イベントの開催により、交流人口の増加促進と地域の活性化、市民の地域愛着心を高めます。各地区観光イベントや地域の担い手育成の支援も推進します。</p>
<p>(2)“すその”の魅力、観光情報の発信</p>	<p>富士山を核とした広域観光、ニューツーリズム、モデルコース造成等の観光商品開発に対する活動支援や、市民協働によるフィルムコミッション活動の支援等を行い、全国に“すその”の魅力、観光情報を発信します。また、観光協会を核とした観光情報の発信、観光交流マネジメント機能の強化を図ります。</p>
<p>(3)観光資源・設備の整備</p>	<p>誘客のため観光資源や観光施設の整備を行い、来訪者のため施設の利便性の向上と安全性を確保するため、機能の安全を努めます。</p>